

北海道合鴨水稲会

水かき通信 創刊号

代表世話人就任のあいさつ

北海道合鴨水稲会 代表世話人 浅野 晃彦

昨年は、北海道合鴨水稲会設立にあたり、多くのご協力をいただき、あらためて御礼申し上げます。北海道に於いて、合鴨水稲同時作は、実践者各々の考え方、技術、土地条件も異なるなかで、個人的な価値観において展開されてきた訳ですが、生命の循環という農業本来の機能の再生を目指し、工夫と挑戦によって自らの足元を強固なものにしようとしている人が多いということを知り、あらためてこの会を発足し、人的なネットワークが出来たことの意義と、これから、このような素晴らしい人材を結び合う会の先頭に立たせて頂いた責任の重さに身が引き締まる思いを抱いています。

先日、兵庫県の南部地震におきましては、被災された方々に、心からご冥福とお見舞いを申し上げ、これから先、一日も早く通常の生活に戻れますようお祈りいたし

ます。そしてこの災害が、決して天災というだけでなく、現代の合理的物質社会がもたらした副次的な災害であることを痛感致します。本来は災害が起きる前に気付いていなければならない事が多くあったと思います。生き物が生きていく上で必要な事、大切にしなければならぬ事は、農業の中に多く含まれていると思います。

この機会に農業の多面的な重要性を啓蒙し、合鴨水稲同時作を通し、子孫に残せる環境を作る事に手を携えて進んでいければと願っています。

少人数でなかなか思うような活動が出来るかどうか分かりませんが、皆様のご協力を頂きながら進めて行きたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます、就任のご挨拶とさせていただきます。

今号の内容

代表世話人就任のあいさつ	浅野 晃彦	1 P
北海道合鴨水稲会設立総会報告	事務局	2 P
情報コーナー	事務局	4 P
書籍、催し物のご案内	事務局	5 P

北海道合鴨水稲会 設立総会 報告

昨年、1994年12月3日と4日の両日、東川町に、合鴨水稲同時作に取り組む農家をはじめとする有志が集まり、北海道合鴨水稲会の設立総会が開かれました。参加者は、28名(来賓2名を含む)を数えました。

まず、総会に先立ち、合鴨水稲同時作を實踐されている方々から事例発表が行なわれました。報告は、倶知安農業高校で先生をしている高橋真一さん、浦臼町の折坂義一さん、中富良野町の間山幸雄さんの三名から行なわれましたが、特に、合鴨を天敵から守るための苦勞や工夫が話され、大変参考になりました。

続いて、福岡県で合鴨水稲同時作に取り組まれて7年目になり、全国合鴨水稲会の代表世話人でもある古野隆雄さんから、ご挨拶と事例報告がありました。古野さんからは、スライドやビデオなどを使って、合鴨水稲同時作の素晴らしい効果がわかりやすく説明されました。古野さんも我々より経験豊かなだけあって、随所にさまざまな工夫が見られ、今後の参考になったと思います。

設立総会冒頭、準備会世話人代表の挨拶に続き、来賓として、この設立総会の開催にあたり何かと御協力下さいました東川町の山田孝夫町長と、はるばる九州から設立総会に駆けつけて下さいました古野隆雄さんよりご挨拶をいただきました。

設立総会開催までの経過報告の後、設立総会の議長として浅野晃彦さんを選出し、議事に入りました。議事は、準備会から提出された議案に基き、以下のよう

に進められました。

討議の過程は簡略化し、主に結果の報告とさせて戴きます。

北海道合鴨水稲会の基本理念

北海道合鴨水稲会の設立にあたり、北海道合鴨水稲会の基本理念として、以下の四点が確認されました。

- ・全国合鴨水稲会の基本理念への共鳴
- ・情報交換と交流の場
- ・食と農を考える場
- ・新しい農業者としての感覚を磨く場

会の構成

そもそもこの会が、どういう人によって構成されるのか、ということですが、結論として、「職業・立場は問わない、個人単位の加盟とする。」ということになりました。(法人・組織単位の加盟は認めない。)

全国合鴨水稲会との関係

全国合鴨水稲会との関係は、組織的には独立し、必要に応じて協力関係を持つというもの。つまり、全国合鴨水稲会の下部組織ではないが、ネットワークを結び、技術的な交流をはかる。ということにすることが確認されました。

事業計画

事業計画については、とりあえず設立一年目ということで、最小限のものとして、原案どおり、総会(年1回)と研修会、圃場見学会(適宜)ということになりました。

収支予算

収支予算については、総会など行事の費用はその都度集めるとしても、全国合鴨水稲会の催しに参加する人への補助や、その他支出を考えて、年会費を増やしてはどうかという意見がありました。結論としては、とりあえず、会員が無理なく払える必要最小限の金額として、一年間様子を見ようということで、原案通り以下のように決定しました。

総収入 36,000円
(内訳) 年会費 1,200円×30名(予定)

総支出 36,000円
(内訳) 総会 10,000円
通信費 10,000円
研修会 10,000円
雑費 6,000円

世話人の選出について

～世話人、代表、事務局
世話人等役職については、以下のように決定しました。

- ・北海道を北部、中部、南部の3地区に分け、それぞれの地区に、2名ずつ世話人を置く。
- ・世話人はそれぞれの地区の連絡を担当し、会の運営上必要に応じて世話人会を開く。
- ・世話人6名の中から1名代表世話人を置く。代表世話人は、会を代表するものとする。
- ・各地区の世話人は、各地区の会員の互選とし、世話人代表は、各地区世話人の互選とする。
- ・事務局は、全員で選出する。
- ・各役職の任期は1年間とする。(再選は妨げない。)

以上の決定に基づいて、以下のように各役職が選出されました。

- ・代表世話人 浅野 晃彦氏(農業)
- ・北部地区世話人 浅野 晃彦氏(農業)
佐竹 良州氏(農業)
- ・中部地区世話人 今橋 道夫氏(農業)
折坂 義一氏(農業)
- ・南部地区世話人 大塚 功氏(農業)
築城 正行氏(農業)

・事務局 酒井 徹(北海道大学大学院)
また、北海道大学農学部三島徳三教授に、当会の顧問を引き受けていただくことになりました。

その他

合鴨の雛の入手先や電気柵の入手先などが紹介されました(情報コーナー参照)。また、事業計画には入っていませんが、機関紙を年3回発行することになりました。

閉会の言葉をもって、設立総会を終了した後、懇親会がもたれましたが、この懇親会の料理は、滝川の出張料理人、岸博光さんの手によるもので、何種類もの鴨料理を中心に、大変なご馳走となりました。

翌日は、ビデオ上映や幅の広い意見交換などが行なわれ、すべての日程を終了しました。



情報コーナー

ヒナの注文はお早めに!

設立総会でも紹介のありました、合鴨の雛を供給している孵化場の一つ、高橋孵化場に浅野さんが行って来ました。

高橋孵化場で供給している雛には、以下の3種類があります。

1. 従来品種
(飛ぶ、小さい、動きがよい。)
2. キャンベル×マガモ
(飛ばない、やや肉付がよい。)
3. チェリーバレー
(大型、肉用種)

それぞれで、問い合わせ・注文をするにしても、地区毎にまとめて注文するにしても、早めの対応が必要です。地区でまとめて注文したいという場合は、世話人の方を中心に連絡を取り合ってください。高橋孵化場への注文については2月いっぱいまで注文可能ですので、事務局(なるべくFAX.011-736-8633)をお願いします。電話は011-716-2111(内線3880)です。)又は

浅野さん(TEL.FAX.0166-72-2011)までご連絡下さい。(但し、引き取りと支払いは、各自の責任でお願いします。)

尚、孵化場によっては、すでに注文を終了したところもあるのでご注意ください。

雛の入手先をあらためて載せておきます。

椎名孵化場

〒289-17 千葉県匝瑳郡光町
TEL: 0479-84-1008

高橋孵化場

〒581 大阪府八尾市竹濑233
TEL: 06-709-3620

津村孵化場

〒581 大阪府松原市別所町
TEL: 0723-31-8731

十島孵化場

〒769-15 香川県三豊郡豊中町
笠田南

TEL: 0785-62-2534

森農産食品

〒769-16 香川県三豊郡大野原町
TEL: 0875-54-3853

全国合鴨水稻会の

入会手続きについて

全国合鴨水稻会に入会を希望される方は、以下が連絡先となります。

〒890 鹿児島県 鹿児島市 郡元
1-21-24 鹿児島大学農学部
萬田 正治 宛
TEL: 0992-54-7141 (内線5326)

入会の手続きは、以上の連絡先に連絡の上、郵便振替で、年会費3,000円を振り込みます。

郵便振替の番号: 鹿児島2-11833

※ 北海道合鴨水稻会の入会手続きについては、最後のページ(6P)に掲載しています。

書籍、催し物のご案内

『農家の友(1995年1月号)』

北海道農業改良普及協会 発行
北海道合鴨水稻会の設立総会に参加された藤村さんから、設立総会の取材記事を掲載した『農家の友』が届けられましたので、会員の皆さんにお届けします。

『ルポ合鴨列島』

—農業の愉快な道、新しい道—

山根 瑞世 著 ダイヤモンド社 発行
この本の著者、山根瑞世さんからチラシが送られて来ましたので、皆さんにお届けします(同封した黄色のチラシです)。購入を希望される方は、以下へ注文すると2割引で買えるそうです。

ダイヤモンド社編集部 佐藤 徹郎 宛
TEL: 03-3504-6419
FAX: 03-3504-6397

第5回 全国合鴨フォーラム 富山大会

95年3月3日(金)~4日(土)

設立総会でも話が出ていましたが、全国合鴨水稻会事務局より、富山大会の案内が届きました。今回は、当会の折坂さんも報告をする予定になっています。応援の意味でも、全国の人達との情報交換、交流の意味でも、皆で参加したいものです。案内を同封いたしましたので参照して下さい。参加申込は2月20日まで受け付けるそうですが、宿泊については、先着250名の制限があるそうですので、参加申込はお早めに。

また、当会会員の川本隆幸さんより、以下の催しの案内が届いています。

バイオ有機生産物振興会 北海道大会

主催: バイオ有機生産物振興会
主管: バイオ生産物振興会
北海道大会実行委員会
会場: 滝川ホテル三浦華園
北海道滝川市花月町2-26
会期: '95年2月15日(水)~16日(木)
内容: 記念講演 「国際化の中でのガイドライン」 東条 功
(農林水産省農蚕園芸局農産課
環境保全型農業対策室 課長補佐)
その他

参加費用: 20,000円(宿泊代込み)
12,500円(宿泊なし)

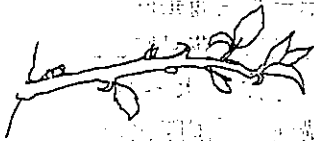
申込・問い合わせ先:
〒078-25 北海道 雨竜郡 北竜町
恵岱別 5-7 高畑 豊 宛
TEL: 0164-34-3646
FAX: 0164-34-3440

※期日が迫っているので、問い合わせ、参加申込はお早めに。



北海道合鴨水稲会の入会手続きについて

北海道合鴨水稲会の会員募集は常時行なっています。皆さんのお近くに、関心を持っている方がいましたら、連絡先、入会手続きについてお伝えください。入会の手続きとしましては、氏名、住所、職業（所属）、連絡先の電話番号を事務局までお知らせいただき、年会費として、1,200円を指定口座に振り込んで戴くということになります。



連絡先：北海道合鴨水稲会事務局
〒060 札幌市 北区 北9条 西9丁目
北海道大学農学部
農業経済学科 農業市場学講座
酒井 徹 宛
TEL：011-716-2111（内線3880）
FAX：011-736-8633

北海道合鴨水稲会指定口座：
郵便局
記号：19090 番号：33485691
名義：北海道合鴨水稲会
事務局 酒井 徹 宛
住所：事務局の住所と同じ

編集後期

まず、事務局の力量不足により、発行が予定より遅れてしまったこととお詫び致します。

さて、出来上がった機関紙ですが、何とも色気のないものとなってしまいました。次号以降、なるべく写真や挿し絵を使って見やすいものとし、内容についても、皆さんからの情報や主張を盛り込むなど、充実したものにしていければと思っています。是非、アドバイスをお願いします。

機関紙の名前は、浅野さんの提案で、『水かき通信』としました。私自身、なかなか良い案が浮かばず、他の人からの提案もなく、困っていたところに浅野さんからの提案があり、即座に採用させて戴きました。

紙面でお知らせしたように、当会の口座を郵便局に作りましたが、このままで

はやや不便なので、郵便振替で受け付け出来るようにしたいとおもいます。

今後も、何かといたらないところが出てくると思いますので、ご指導のほど、よろしくお願い致します。

北海道合鴨水稲会 水かき通信 創刊号
1995年2月4日発行
発行：北海道合鴨水稲会
発行所：北海道合鴨水稲会事務局
〒060 札幌市 北区 北9条 西9丁目
北海道大学農学部
農業経済学科 農業市場学講座
酒井 徹
TEL：011-716-2111（内線3880）
FAX：011-736-8633